

## インド押出機メーカーS社様へのフィーダ納入



クボタの重量式フィーダは

韓国・中国・台湾・タイ・インド・マレーシア・インドネシアの  
 海外各地にも販売・サポート体制を持っているんだよ。

その中で、今回はインドでの導入事例を紹介します。



この度、インドの押出機メーカーS社様のアプリケーション開発センターといわれるテスト設備にクボタの重量式フィーダを導入いただくことになったんじゃ。



ここはインド国内のお客様から原料をお預かりしてテストする場所なんじゃよ。

この設備に導入していただくことで、クボタの重量式フィーダをインド国内のたくさんのお客様に知ってもらえる場所にもなるんじゃ。

S社様ではこれまで、他社のフィーダを使用されておりクボタ製は初めてなんじゃ。

そこで、営業担当と技術員がインドへ向かい4日間のレクチャーをさせて頂いたんじゃよ。



試運転では、隣接する他社製品と比較してもらいながら現状できていた事との比較や、クボタ製との取扱い方法の違いについて厳しい雰囲気もあったんだよね。



うむ。

しかし、ここからがクボタ製品の腕の見せどころじゃ！

技術員の懇切丁寧なレクチャーによりクボタ製品の信頼性と高い性能について除々に理解を示していただいたんじゃよ。



中でも特に喜んで頂けたのが次の2点じゃ。

① **クボタ独自のノウハウによるスクリュ選定**



フィーダでは原料の種類や性状・大きさによって、選定するスクリュもさまざま。



これまでは実際に原料を流しながら、スクリュを選定していたため、テストまでの準備時間を要していたことが、独自のノウハウをレクチャーしたことによって、選定にかかる時間を大幅に短縮することに繋がりテスト作業の効率化が見えてきたんじゃ。

## ② 制御システム KD-T3000 のトレンドグラフ



フィーダの状態を一目で確認することができ、他社製にはなかった機能なんじゃ。

4日間のレクチャーを経て、クボタ製品に慣れていただき営業・技術員との信頼も築けたようで集合写真をパチリ☆



今後も長いお付き合いをよろしくお願いいたします！



※「KD-T3000」は2026年6月末日をもって受注終了いたします。

後継機種は「WF-DT」となります。

WF-DTの製品情報はこちらをご参照ください。

<https://scale.kubota.co.jp/products/集中管理操作ターミナル-wf-dt.html>